

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2017
May
No.1063

5月

表紙

4月に開設された認定こども園
ほんべつに通園する子供たち



Pick up

- ✿ 認定こども園ほんべつ いよいよオープン
- ✿ 本別山溪つつじまつりが開催されます
- ✿ ほんべつ健康ウィーク2017が行われます
- ✿ 本別町の介護現場で働いてみませんか？
- ✿ 空き家の適正管理をお願いします

認定こども園ほんべつ いよいよオープン

学校法人鉦路カトリック学園（本間克弘理事長）が運営する「幼保連携型認定こども園ほんべつ（石田恵園長）」のオープニングセレモニーおよび入園式が4月1日、南3丁目の新施設で執り行われました。

テープカットと バルーンリリースで 開園を祝福

平成26年から町と同学園、子ども・子育て会議などで、町内の子供たちのよりよい保育・教育環境整備のため検討を重ねてきたこども園がいよいよオープンとなったこの日、セレモニーには、新施設に入園となる幼児と保護者など計約300人が出席。セレモニーでは、本間理事長、石田園長、高橋

正夫町長、方川一郎町議会議長と年長児の6人がテープカットを、出席者らがカラフルな風船を青空に放ち、新施設の開園を祝福しました。

入園式で石田園長は、「新しい施設でみんなと過ごせるのをとても楽しみにしています。皆さん、笑顔で通ってきてください」と子供たちへ呼び掛けたほか、町や建設に携わった事業者への感謝の言葉と、保護者へ、よりよい保育・教育を提供できるよう尽力しますと抱負を語りました。引き続き、記念品として建設事業者から絵本が、美里別西中の土蔵信さんからシンボルツリーが、本別ライオンズクラブから交通安全帽子が同園に贈られ、園児らが受け取りました。

同園は、園児139人、教育・保育・調理・看護等に携わるスタッフ48人でスタートし、4月3日から給食の提供を含む通常保育と新たな就学前教育、子育て支援センター事業が行われています。

学校法人 鉦路カトリック学園 幼保連携型認定こども園 ほんべつ








施設概要

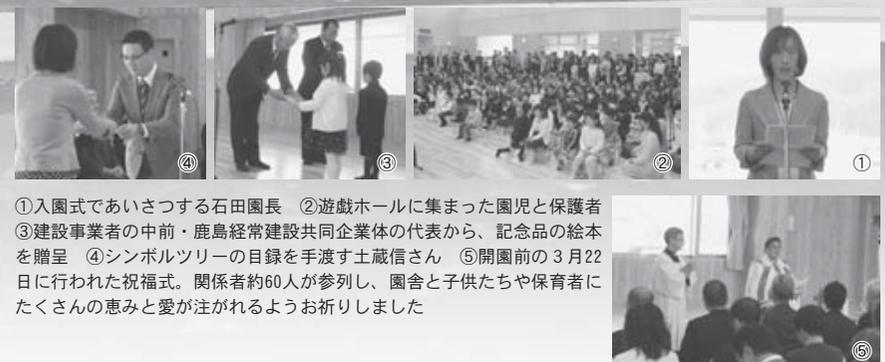
基本理念
「未来に羽ばたく子ども達の生きる力を育み、子ども一人ひとりがかけがえのない存在として輝く、こども園」

敷地面積 12,935.81㎡
建築面積 2,051.50㎡
延床面積 1,859.36㎡

構造 鉄骨造平屋建て
機能 病後児保育、延長保育、一時預かり保育、子育て支援センター

だ い ず

① 広々とした保育室。木材がふんだんに使用され、温かみ溢れるお部屋です。クラス名は「だいず」、「あずき」、「そら」など豆の名前で統一され、表示も豆の形 ② 保育の様子。子供たちは元気いっぱい通っています ③ カラフルな表示で絵本コーナーをご案内 ④ 子育て支援センターの様子。新しいおもちゃもたくさんあり、多くの親子連れでにぎわいます



①入園式であいさつする石田園長 ②遊戯ホールに集まった園児と保護者 ③建設事業者の中前・鹿島経常建設共同企業体の代表から、記念品の絵本を贈呈 ④シンボルツリーの目録を手渡す土蔵信さん ⑤開園前の3月22日に行われた祝福式。関係者約60人が参列し、園舎と子供たちや保育者にとくさんの恵みと愛が注がれるようお祈りしました

タイムスケジュール

- 午前10時00分～ 開会宣言
各種売店コーナー
つつじ等即売会
ふわふわランド
本別義経太鼓
- 午前10時30分～ 開会式
- 午前11時00分～ ジャンボ義経鍋（1杯200円・1000食）
野点
- 午前11時05分～ OCTVキャンペーン
- 午前11時20分～ 十勝青空レディ紹介
- 午前11時45分～ ゲーム大会（うなぎつかみ大会）
- 正午～ つつじ祭り写真コンテスト&モデル撮影会
- 午後1時00分～ お笑いライブステージ&ゲーム大会
- 午後2時00分～ 閉会式

お笑いライブステージ



「ものまね芸人るみるみ」
午後1時00分～

問い合わせ

実行委員会事務局（企画振興課商工観光・元気まち担当） ☎22-2141

第59回本別山溪

つつじ祭り

5月14日 日 **小雨 決行**

午前10時～

義経の里本別公園 静山第1キャンプ場

主催：本別山溪つつじ祭り実行委員会

第59回本別山溪つつじ祭り（実行委員会主催）が5月14日、本別公園静山第1キャンプ場で開催されます。咲き誇るエゾムラサキツツジやエゾヤマザクラのほか、盛りだくさんの催しで皆さんをお迎えします。



国民年金

学生納付特例制度とは？

その181

20歳になると国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務付けられますが、所得の少ない学生については、申請により在学中の保険料の納付が先送りされる「学生納付特例制度」が設けられています。

●学生納付特例制度のメリット

- ・年金を受け取るために必要な期間（受給資格期間）に算入されます。ただし、年金額は反映されません
- ・病気やけがで障がいが残ったとき、障害基礎年金を受け取ることができます

●対象になる人

大学（大学院）、短大、高等学校、高等専門学校、特別支援学校、専修学校、各種学校（修業年限が1年以上の課程）に在学する20歳以上の学生等で、ご本人の前年所得が次の基準以下の人です。

《所得の基準》

118万円＋扶養親族等の数×38万円

◎申請できる期間

申請時点から2年1か月前までの期間について、さかのぼって申請することができます。

◎申請方法

印鑑（シャチハタは不可）および学生証の写しまたは在学証明書（原本）を持参のうえ、役場住民課戸籍年金担当窓口で申請してください。

◎はがき形式の申請書について

学生納付特例により、平成28年度に保険料納付の先送りが承認され、平成29年度も在学予定の人には3月末に基礎年金番号等が印字されたはがき形式の学生納付特例申請書が発送されています。

同一の学校に在学している人は、はがきに必要事項を記入し、返送することで平成29年度の申請ができます。この場合は、学生証の写し等の添付は不要です。

なお、平成29年度は保険料の納付を希望される場合は、帯広年金事務所へご連絡ください。



帯広年金事務所
☎015512518113

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
6221-8128

日本年金機構のホームページは
<http://www.nenkin.go.jp>

町体育協会加盟団体主催および各団体共催イベント **参加費あります**

★ふまねつとガンバルーン体験会

と き 5月29日(月)
 と ころ ①あいの里交流センター 午前10時30分～午前11時30分
 ②仙美里地区公民館 午前10時～午前11時30分
 問い合わせ 本別町社会福祉協議会 ☎22-8320 ※申し込み不要



★勝每杯ミニバレー大会

と き 5月30日(火)午後6時～午後9時
 と ころ 本別中学校体育館
 内 容 混成(男2女2) ・160歳未満の部 ・160歳以上の部
 男子1人女子3人のチーム構成も可
 参 加 料 1人500円 参加賞・景品あり
 申し込み 5月12日(金)までにミニバレー協会 高瀬英明さん
 ☎およびFAX 22-4942



★柔道体験会

と き 5月30日(火)午後7時～午後9時
 と ころ 柔剣道場(本別中学校隣)
 問い合わせ 柔道連盟 古山靖弘さん ☎090-5079-8667
 ※申し込み不要、動きやすい服装でお越しください



★親子テニス教室

と き 5月30日(火)午後7時～午後9時
 と ころ ふれあい多目的アリーナ
 申し込み テニス協会 小川末勇さん ☎080-9039-2593



★ゲートボール大会

と き 5月31日(水)午前8時30分～午後1時30分
 と ころ ふれあい多目的アリーナ
 申し込み 5月19日(金)までに
 ゲートボール協会 矢部英夫さん ☎22-5529



★バスケットボール体験交流会

と き 5月31日(水)午後6時～午後9時
 と ころ 本別中央小学校第1体育館
 内 容 ミニバス、ジュニア、高校、一般の部
 個人・チーム参加どちらでも可
 申し込み バスケットボール協会 川口道行さん ☎090-8709-5713
 ※当日申し込み可

★バドミントン体験会

と き 5月31日(水)午後6時30分～午後9時
 と ころ 町体育館大競技室
 申し込み バドミントン協会 山西美奈子さん ☎090-3777-2976
 ※当日申し込み可

問い合わせ 町体育館内スポーツ担当 ☎22-2331

健康スポーツ週間事業

ほんべつ健康ウィーク

気軽に運動、さわやかな笑顔

2017

本別町および教育委員会では、運動の実践により健康な心と身体を養う活動強化週間として、「ほんべつ健康ウィーク2017」を開催します。期間中、体育施設の無料開放のほか、だれもが参加しやすい内容やスポーツ大会、運動体験教室などを実施いたしますので、気軽に参加し、体力向上や健康づくりに取り組みましょう。

と き 5月29日(月)～6月4日(日)

と ころ 町内全域

主催/本別町、本別町教育委員会 共催/本別町体育協会、本別町社会福祉協議会

主催者イベント

参加費あります

日 程	イベント名	時 間	会 場	定員	申し込み・参加料
5月29日(月)	開会式&早朝ラジオ体操	午前7時15分～ 午前7時30分	役場正面玄関前(南側)	なし	不要 無料
6月1日(木)	筋力アップ講座 講師 若林健一氏	午後7時～ 午後8時30分	体力増進センター	10人	要 無料
6月2日(金)	豪華景品! ディスコン大会	午後6時30分～ 午後9時	町 体 育 館	なし	要 無料 景品有
6月4日(日)	太陽の丘パークゴルフ大会	午前9時30分～	太陽の丘パークゴルフ場	なし	要 1,000円 景品有

期間中、すべての体育施設を無料開放します!! (休館日は除く)



健康をテーマとした関連事業も開催されます

○食と健康づくり講演会

と き 6月2日(金) 午後1時～
 と ころ 健康管理センター
 講 師 諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實 先生
 ※試食会有り(5月26日締め切り)
 申し込みおよび問い合わせ 健康管理センター ☎22-2219



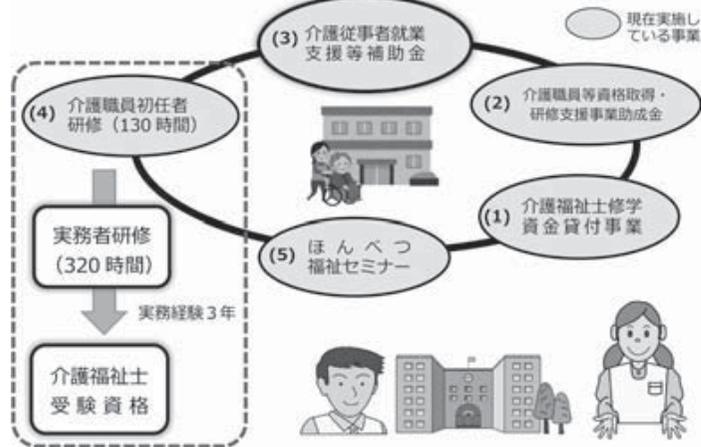
本別町の介護現場で働いてみませんか？

ひとり親家庭も応援しています！

介護人材の確保については全国的に大きな問題となっており、本別町も例外ではありません。介護を必要とされる人々が地域で安心して暮らし、必要なサービスが提供されるよう、介護現場における人材の安定的な確保と離職防止に向け、幅広い施策を総合的に推進していきます。

本別町では、介護現場における人材確保・育成・定着を推進するため、さまざまな施策を総合的に実施しています。介護職場での就職を目指す皆さんが、本別町での新生活をスタートできるように、応援しています。

本別町における総合的な介護人材確保対策



(1) 介護福祉士 修学資金貸付事業
介護の仕事を目指す人に修学資金の貸し付けを行い、町内の事業所に勤めた場合、返済を全額免除します！

将来、介護福祉士として本別町内の介護サービス事業所および障がい者福祉施設に勤務を志望する人に対して、修学に必要な学資金を貸し付けします。
【貸付金額】
月額5万円以内（他の制度との重複受給可）
【償還金の免除】
介護福祉士として本町の介護サービス事業所等に修学資金の貸し付けを受けた期間の2倍に相当する期間在職したときは貸付金の償還が免除されます。

(2) 介護職員等資格取得・研修支援事業助成金
働きながらキャリアアップを目指す人にアツプを！

介護職に従事する人がキャリアアップのために受講する資格取得研修に係る費用の一部を助成します。
【対象者】
町内の民間介護サービス事業所に勤務する人を対象に、その所属する事業所に補助を行います
【助成内容】
資格取得に要した費用の2分の1（上限ひとり8万円）

詳しくは
本別町ホームページ
をご覧ください
【介護人材確保対策】
https://www.town.honobetsu.hokkaido.jp/news/post_589.html

就職支度金として10万円、
有資格者は5年最大160万円を支給します

(3) 介護従事者 就業支援等補助金

町内の民間介護サービス事業所において新たに就職する介護従事者を対象に、就業支援補助金（就業支度金、就業支援金）、住宅準備支援補助金、養育支援補助金、支度準備補助金を交付します。

▼資格要件

- ①介護福祉士等の資格
介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、看護師等の国家資格
- ②それ以外の資格
介護福祉士等の資格以外の介護職員初任者研修 実務者研修、旧2級ヘルパー等の介護業務に関する資格
- ③無資格
- ▼支給要件（共通）
平成28年4月1日以降、新たに町内の民間障がい者福祉施設並びに介護保険施設に常勤雇用として就職する介護従事者であつて、雇用開始日以前5年間に於いて、町内の介護保険施設等に雇用されていない人等

就業支援補助金

【対象】
資格要件①②③に該当する町内在住者
【支給額】
10万円
初任者研修を受講した本別高校生およびひとり親家庭
+10万円

就業支援金

【対象】
資格要件①②に該当する町内在住者
【支給額】
①介護福祉士等の国家資格をもちの人
1年経過ごとに25万円
②介護職員初任者研修等の研修を修了されている人
1年経過ごとに15万円
5年間限度で総額75万円

住宅準備支援補助金

【対象】
資格要件①②に該当し、町外から転入される人
【支給額】
家賃2か月分、敷金および礼金ならびに転居に係る運送費用
※限度額 25万円

養育支援補助金

【対象】
資格要件①②に該当し、ひとり親家庭で町外から転入かつ中学生以下の子どもと同居する人
【支給額】
1世帯につき 月額2万円
ただし、子どもが18歳に達した年度の3月31日まで

支度準備補助金

【対象】
資格要件①②③に該当し、やむを得ず町外から通勤される人
【支給額】
常勤雇用 10万円
非常勤雇用 5万円

これから介護の仕事を目指す人に



(4) 介護職員初任者 研修の開催

これから介護サービス事業所に従事しようとする人や介護知識を学びたい人を対象に基礎的な研修として、介護に携わる上で求められる専門的な基本姿勢、基本的な知識・技術の習得を目的として開催しています。
【対象者および参加費】
本別高校生、60歳以上の人は無料
その他一般の人および介護事業所従事者………1万円



本別町の介護現場を知って
もらうために

(5) ほんべつ福祉セミナー（通称「GOGO介護」）の開催
まちの魅力や町内の介護サービス事業所を知ってもらうため、夏休み期間を利用して泊3日、オンラインキャンパス事業を実施しています。
【対象者】
道内の介護福祉士養成校に通う学生
【参加費】 3千円
※平成29年度は8月8日～10日の3日間で開催します

私たちも支援制度を活用して、4月から本別町で働いています!!



たの かず よし さん
田野和良
18歳
職場：清流の里

●**職場の印象**
仕事がいやという環境です。職員の方皆さんも優しく、なんでも聞いて教えてもらうことができます。

●**職場を選んだ理由**
子どもの頃から祖父の介護を通じてこの仕事をしたいと思っていましたが、昨年「GOGO介護」の事業所研修に参加し、この清流の里で働いてみたいと思いました。

●**就業支援補助金について**
いろいろな形で将来自立できるような自分のために使いたいです。



●**今後の抱負**
少しずつ仕事に慣れながら利用者にも頼られる介護士になりたい！生涯介護士として働いていきたいです。



まゐ り さん
門馬朱理
18歳
職場：デイサービスセンター

●**職場の印象**
先輩は優しく、分からないこともしっかり教えてもらえるので、とても働きやすいです。

●**職場を選んだ理由**
中高時代ボランティアクラブかめに加入し清流の里など訪問の際、高齢者との関わりが深く、介護の仕事に携わりたいと思い、地元で働ける職場を選びました。

●**就業支援補助金について**
将来自立する資金として活用できる、大変助かる制度です。



●**今後の抱負**
これからも資格をたくさん取り、利用者や職場の仲間に頼られるような人になっていきたいです。



の ほろ いく み さん
野原育美
39歳
職場：ゆうあいの里

●**職場の印象**
先輩方に助けてもらいながら、一つずつ仕事を覚えつつあります。小規模であることから利用者さんに目が届きやすく大変働きやすい職場です。

●**職場を選んだ理由**
清流の里を見学した際、利用者さんとコミュニケーションを密にしているところが自分に合っていて働いてみたいと思いました。

●**就業支援補助金について**
就職先を決める際に、介護現場が選択肢の一つになりました。



●**今後の抱負**
さらにいろいろな仕事を覚えながら、職場の皆さんと仲良く頑張っていきたいです。

町内の介護サービス事業所

- 本別町社会福祉協議会
- デイサービスセンターほんべつ
- ホームヘルプセンターほんべつ
- 福祉用具貸与センターほんべつ
- 小規模多機能型居宅介護事業所3か所
- 刀圭会 介護老人保健施設アヌニティ本別
- グールドビーホームあさひの里
- 北海道総合在宅ケア事業団本別地域訪問看護ステーション
- 高瀬建設 有料老人ホーム地域共生ホームきらり
- 本別町特別養護老人ホーム

問い合わせ

手続き方法等詳しい内容については、総合ケアセンター介護保険担当 ☎22-8520まで、お問い合わせください。

もう放置しない！ 放置させない！ 「空き家の適正管理」をお願いします！

老朽化した危険な空き家が全国的に増加し、社会問題となつていきました。本別町でも放置されている空き家が周囲に悪影響を与えている事例もあります。本来、空き家は個人の財産であり、適正な管理は所有者の責務となるのが原則ですが、実態として管理されていない空き家が目立ってきている現状です。

なぜ空き家が問題なの？

空き家が適正に管理されないといないと、老朽化が進み、危険な状態となつて地域住民の安全を脅かすこととなります。空き家が放置されると、雑草の繁茂のみならず、倒壊事故や屋根材等の飛散事故、害虫等の発生にもつながります。空き家を所有または管理されている人は、定期的に草刈り等を行い、建物等の損傷の有無についてご確認ください。本町では、平成26年度から厚生労働省のモデル指定を受けて、空き家の有効活用と一体的な生活支援を行うことで、住宅の確保が困難な人が住みやすいまちづくりを進めています。また、空き家の実態調査を自

空き家の現状

調査の結果、空き家と推定される建築物は、町内全体で373件あり、全世帯数に対する空き家の割合は約11%です。また、市街地区だけでなく、郊外の農村部も含めて町内全域に散在し

ている状況を確認しました。また、木造の専用住宅が高い割合を占めており、管理の状態別にA〜Dランクの判定を行っています。その結果、管理の問題がない空き家は全体の3割で、比較的小規模な修繕で利用可能な空き家は5割近くを占めています。一方、管理不全の状態にある空き家も2割程度あることが分かりました。

空き家の管理状態

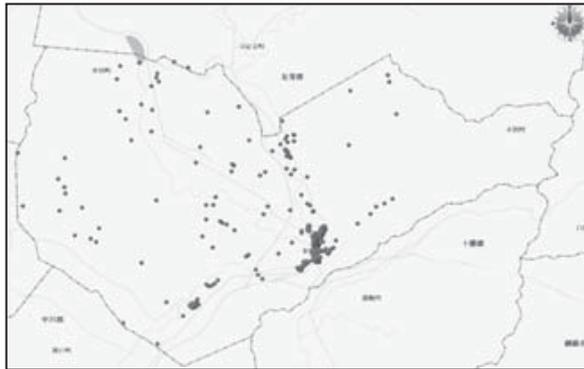
外観による建築物等の管理状況	ランク	件数 (割合)
管理に問題がない	A	125 (33%)
管理が行き届いていないが比較的小規模な修繕で利用可能	B	174 (47%)
倒壊等の可能性は少ないが、現況のままの利用は困難	C	47 (13%)
倒壊・崩壊の可能性が高い	D	27 (7%)
合計		373 (100%)

写真出典：国土交通省

空き家所有者の現状

空き家所有者への意向調査では、送付先が確認できた307件中184件から回答をいただきました。(回収率は約60%)

調査結果から空き家の所有者は高齢者が多く75歳以上の人が4割を占めています。また、世帯状況では「夫婦のみ世帯」と「単身世帯」が約半数を占めて



本別町における空き家の分布

おり、高齢化の進捗とともに、管理不全の空き家の増加が予測されます。

空き家になったきっかけは、「別の住居へ転居した」が最も多く、次いで「相続等により取得したが入居していない」となっています。

空き家の状態は、「家財道具が残っていて片付けが必要」が約29%と最も多く、「家財道具

が処分済みですぐに住める状態である」が4%となっています。また、維持管理の状態では、「管理を行っていない」が3割で、「管理を行っている」が5割です。

本別町は「空家等対策計画」を策定し、特定空家等に対する取り組みを進めています。

平成27年5月に空家等対策の推進に関する特別措置法(以下、空家対策特措法)が施行されました。この空家対策特措法に基づき、平成28年3月に「本別町空家等対策計画」を策定しました。(詳しい内容は町ホームページをご覧ください)

この計画では、放置され適正な管理が行われず、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす「特定空家等」の所有者に対して、必要な措置を講ずることが明記されています。

「特定空家等」とは?

① そのまま放置すれば倒壊等、著しく保安上危険となる恐れのある状態
② 著しく衛生上有害となる恐れ

適正な管理を

お願いいたします

空き家が原因となって、近隣や通行者に被害が発生した場合、所有または管理されている人の責任となり、損害賠償を問われるおそれがあります。所有者は空き家の適正な管理をお願いします。

適正な管理とは?

建物や敷地内の状態を健全に維持し、周辺の住民に迷惑を掛けない状態のことです。(空き家の空気の入れ替え、雑草の除去、郵便ポストの清掃、庭木の剪定などを行い、空き家を放置しておかないこと)

連絡先を明らかにする

遠方への引っ越しや相続で長期間家を空ける場合、隣近所や自治会などに連絡先を伝えておき、連絡を取れるようにしておいてください。

売却、賃貸について

建物は、使用していない期間が長くなると資産価値が下がります。売却や取り壊しについてもご検討ください。

建物の老朽化が進む前に、不動産業者等へご相談ください。

これまでの町の取り組み

① 空き家の実態把握

自治会長や民生委員の協力をいただき、毎年度、空き家の実態把握を行っています。この調査は、空き家の火災予防のための実態把握を兼ねて消防署と同行っています。

調査に対するご協力をお願いします!

② 空き家所有者等の意向把握

空き家の適正な管理と流通促進のため、所有者等に対する意向調査を行っています。この調査も継続的に実施しますので、ご協力をお願いします!

③ 適正管理を促す意識啓発

固定資産税の納付書の送付に併せて、適正管理および高齢者就労センターでの管理代行サービスの紹介などの啓発文書を発送しています。

④ 地域や近隣住民、所有者等に対する相談援助

空き家に対する苦情などを所有者等に伝え、適正管理や空き家の解体を促しています。また、



今年度の新たな取り組み

空き家解体助成制度の創設

町では、近隣に深刻な影響を及ぼす状態にある老朽危険空き家の解体を促すため、解体に係る費用助成制度を新たに創設しました。

この制度は、町が実施する実態調査により、周辺への影響度が高い老朽危険空き家の所有者等に対して、助成制度の活用を促すものであり、一般的な空き家の解体に対する助成制度ではありません。

今年度は3戸分(1戸当たり最大100万円)の予算措置を行っています。

空き家に関する相談窓口

相談の内容が複数の部署にまたがる場合もあり、関係する部署が連携して対応します。

■ 空き家の総合的な相談窓口 役場建設水道課 ☎ 22-8122

担当分野	部署名	電話番号
建築物(管理不全状態な建物)	建設水道課建築担当	☎ 22-8122
建築物以外の周辺環境	住民課環境生活担当	☎ 22-8128
移住定住・空き家バンク	企画振興課地方創生推進室	☎ 22-8121
居住支援協議会(空家対策協議会) 高齢者等の住み替え相談等	総合ケアセンター高齢者福祉担当	☎ 22-8520

町ホームページ(本別町空家等対策計画)

<https://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/cat/2832.html>

特定空家等の認定(町↓所有者等)

① 助言・指導
所有者等が自らの意志による改善を促す措置。

② 勧告
助言または指導をしたが、改善が認められないときには、必要な措置をとることを勧告。
※「勧告」の対象となった「特定空家等」の土地は、住宅用地に係る固定資産税の課税標準の特例措置から除外されます

③ 命令・公表
正当な理由なく、勧告に係る措置をとらなかつた場合、勧告に係る措置をとることを命令することができる。
※命令に違反した者は、50万円以下の過料が科せられます

④ 行政代執行
①~③の措置を履行しても十分な処置が見込めない場合には、行政代執行法により、伐採、解体等を町が行う。
※行政代執行にかかる費用は、町が所有者等に対して請求します

③ 適正な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態
④ その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態

これらの要件を満たし、「特定空家等」の認定を町が行った場合、空家対策特措法に基づき、所有者等に対して次の手順で措置を講ずることになります。

水道工事・下水道工事にぜひ協力を

今年度も水道工事・下水道工事を計画図の通り行います。水道工事の際には、一時断水や多少水が濁ったりする場合があります。下水道工事では、箇所によっては工法上、作業中に車両通行止めのところも出るため、回り道の案内標識をご確認の上、通行をお願いします。皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

下水道の普及状況は

町公共下水道は皆さんの温かいご理解で、平成3年3月末に供用を開始した後も順調に進み、平成28年度末で整備面積が286.6ha（事業認可面積370ha中）、管きよ（下水道の埋設の総延長は51.5kmとなりました。平成28年度の水酸化など（トイレ、台所 風呂）の状況は、改造工事および新築による接続を合わせて12件で（個人、法人、団体すべてを含む）、これまでの累計は2632件となり、水洗化率は90.74%となりました。

水洗化改造工事に融資・補助制度があります

融資あっせん制度は融資額の上限が60万円。自己資金で工事を行った人への補助金の上限は6万円となっています（供用後3年以内に工事をされた場合）。3年を過ぎてから工事を行った場合は、1年経過ごとに上限の額が少しずつ低くなり、補助については5年で打ち切りとなります。

工事の申し込みは町の指定業者へ

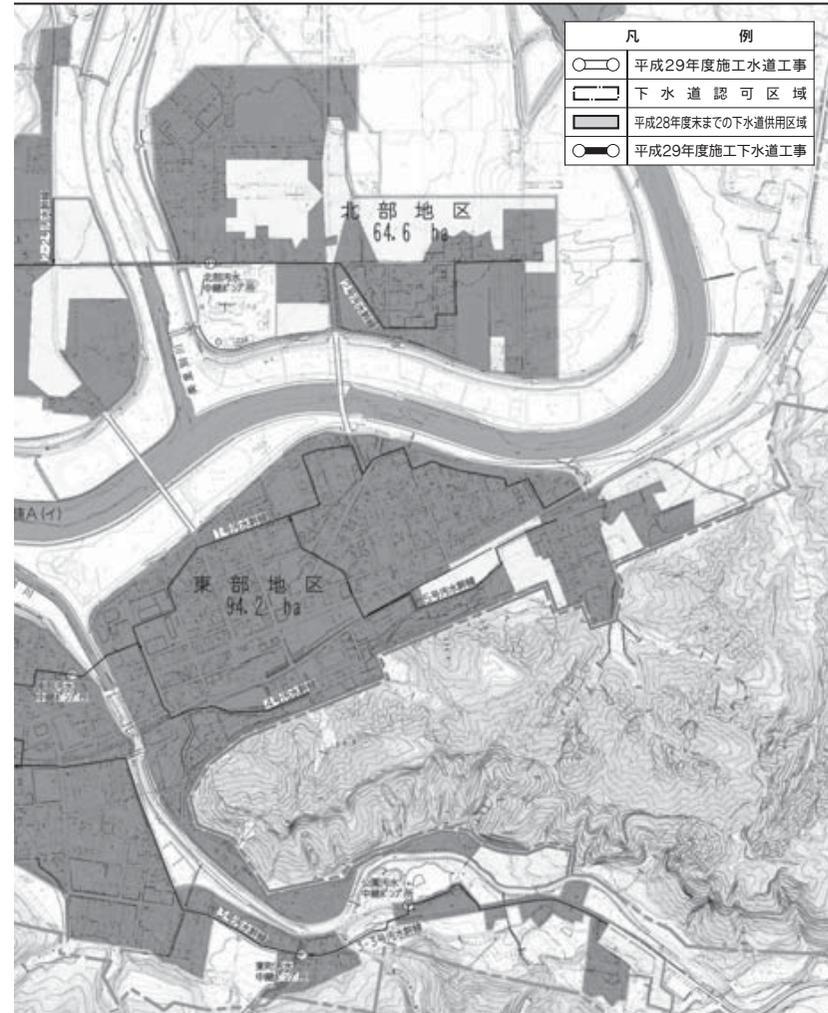
給排水設備の新設、改造、修繕、撤去などの水道工事や水洗化工事を行うときは、町が指定した工事業者へ工事の申し込みをしてください。指定工事業者が建設水道課へ必要な手続きや、水洗化工事における融資あっせん制度、補助金制度の手続きを取り、工事を行います。

問い合わせ

建設水道課
水道・下水道担当

☎22-8122

平成29年度 水道工事・下水道工事計画図





4/6 交通安全母の会

交通安全母の会（田西喜代会長）が4月6日、道の駅前、国道交差点で街頭啓発を行い、会員4人がシートベルト着用を旗を掲げながら、マイクを通して交通安全を訴えました。同日には北海道警友会十勝支部本別地区（坂井久恵地区長）の8人が、同日には本別ライオンズクラブ（福家立雲会長）の会員12人が北8丁目ふれあい公園で、同日には建友会（三木哲会長）の会員27人が南4丁目の国道242号線沿いで、それぞれ交通安全街頭キャンペーンを行い、ドライバーに交通安全啓発チラシなどを手渡ししながら、安全運転を呼び掛けました。



4/13 本別ライオンズクラブ



4/11 建友会



4/10 警友会

春 交通安全を願って



4/14 本別中央小学校 1年生交通安全教室

交通安全を呼び掛ける



4/20 交通安全指導員会 春の登校時交通安全キャンペーン

町交通安全指導員会（宮崎統会長）が4月20日、春の登校時交通安全キャンペーンを行い、関係機関の職員約30人が、通学路4か所で児童・生徒に交通安全啓発用ポケットティッシュを配付しました。
本別中央小学校では同日、2年生から6年生177人を対象に交通安全教室を行い、3人の同指導員の協力を得ながら、自転車での横断歩道の渡り方や歩行者優先のルールなどを学びました。
勇足小学校（濱田和光校長、39人）でも同日、交通安全教室が行われ、自転車の乗車訓練のほか、大型車の運転席に実際に座り、死角を体験するなど、交通安全の意識を高めました。



4/20 勇足小学校交通安全教室



4/20 本別中央小学校 2年～6年生交通安全教室

◆ ◆ ◆
本別中央小学校（山川修校長、1年生44人）を対象とした交通安全教室が4月14日、同校周辺で行われ、児童らは横断歩道の渡り方など、事故に遭わないための交通ルールを学びました。

同出動式には、交通安全関係団体など約20人が参加するなか、松谷剛本別警察署長は、「子どもと高齢者の事故防止やシートベルトの正しい装着の徹底など交通事故抑止対策を推進したい」とあいさつ。出動宣言のあと、パトロールカー5台が一斉に市街地に出発しました。



4/6 交通安全運動出動式

◆ ◆ ◆
十勝管内の交通事故状況
平成28年の十勝管内の交通事故死者数は8人で、このうち1人は本別町内で発生した事故によるものです。平成29年は、十勝管内で既に2人（3月末現在）が交通事故で亡くなっています。

町民の皆さんへ
交通事故は、取り返しのつかない事態を招いてしまいます。通り慣れた道の走行は、気の緩みからくる脇見や居眠りなどが事故につながります。
町民の皆さんには、交通事故を防ぐためにも、家庭や職場、学校などで互いに「車を気をつけて」などという声掛け合ってほしいと思います。
また、子どもの登下校時には地域ぐるみでの見守りをお願いします。



本別警察署 松谷 剛 署長

気温の上昇とともに、気持ちが悪みがちになるこの季節。悲惨な交通事故が起きないようにと、「春の全国交通安全運動（4月6日から15日）」出動式が4月6日、本別警察署前で行われました。この出動式を皮切りに、町内のさまざまな団体が交通安全への各種取り組みをスタートさせました。

本別町地域包括ケア

キックオフイベント

本別町地域包括ケアキックオフイベント（町主催）が3月24日から26日の3日間、中央公民館と総合ケアセンターで開かれました。



グループ討議では本別町の医療・介護について討論

このイベントは、いつまでも住み続けられるまちづくりの地域包括ケアシステム構築に向け、地域包括ケア研究所（鎌田実所長）の協力のもと実施。

初日の24日は、あんしんサポートセンター「フォローアップ」研修（町社会福祉協議会主催）を兼ねて行われ、長野県諏訪中央病院の名誉院長でもある鎌田先生が127人の来場者へ、「魅力的な人材が集まる病院をどうつくる―総合診療医の役割―」をテーマに講演しました。鎌田医師は、これまでの診療経験や健康長寿の秘訣を語ったほか、みんなが夢・希望をもつことが大切であるという力説。「大変なところで生活している人から声を聞いていく必要がある」と述べました。続いて、来場者が5人から6人のグループに分かれて、本別町の今の医療・介護について満足していること、困っていることを語り合うと、鎌田医師が



将来の夢を聞く鎌田医師



問題の解説をする山中医師



和やかに進行する奥医師

「いつまでも住み続けられるまちをつくる」

参加者に寄り添って地域の声に耳を傾けました。3日目の26日には小中学生の親子を対象としたイベントが開催され、「生きていくって素晴らしい」と題して、鎌田医師が講演しました。鎌田医師は子供たちに「将来の夢は何？夢を持つと頑張ることができるよう」と話し掛け、自身が幼少時代に母親に育ててもらい、医師を志し、加者にいのちとときずなについてやさしく語りました。また、同病院総合診療指導医の奥知久医師の進行で、「スーパー総合医」の体験が行われ、

平成29年度 町内小・中学校

本別高等学校・農業大学校入学式



本別高校入学式



宣誓する新入生代表 広瀬 蘭さん

新生活に希望を描いて

平成29年度入学式が農業大学校で4月8日、町内小・中学校および本別高等学校で同日、それぞれ行われました。

今年の入学者数は、小学校53人、中学校48人、本別高校38人、農業大学校78人。児童生徒の皆さんは、今までとは異なる環境に不安を抱きながらも、新生活に希望を描いて初登校しました。

勇足中学校（阿部立校長）では、70回目の入学式を迎える今年、10人の新入生が入学。林彩奈生徒会長が「皆さんと過ごす中学校生活が楽しみ。有意義な日々を共に過しましょう」とあいさつした後、新入生が一人ひとり入学の決意を述べました。本別高校（佐藤渉校長）入学式では、佐藤校長が「3年後の進学・就職に向けて、自らが学ぶという主体的な考え方を身に付けてください」と生徒を激励。新入生を代表し、広瀬蘭さんが「3年間の限られた時間の中で、仲間と共に充実した高校生活を過ごし、自分の目標に向かって努力します」と力強く宣誓し、生徒らはそれぞれの希望を胸に新たな学校生活の第一歩を踏み出しました。



勇足中学校入学式



3/28

涙のお別れ式。再会を誓ったあと、楽しかった思い出を胸に南三陸町のジュニアリーダーたちは本別町をあとにしました。次は夏の南三陸町で会いましょう！

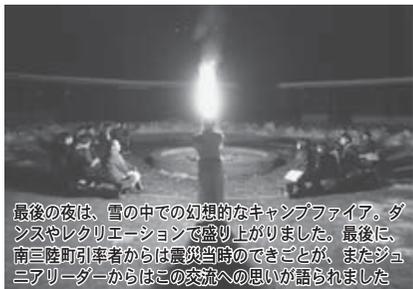


3/27

スポーツレク「タグラグビー」「玉入れ」に挑戦



屋食に市街地婦人会特製のカレーライスをおいしくいただきました！



最後の夜は、雪の中での幻想的なキャンプファイア。ダンスやレクリエーションで盛り上がりました。最後に、南三陸町引率者からは震災当時のできごとが、またジュニアリーダーからはこの交流への思いが語られました

事業担当者より

この「ふるさと交流研修会」は中高生たちが中心となってプログラムを進めています。

担当となった人は先輩や仲間と相談しながらプログラムを取り進めますが、失敗してしまうこともあります。でもそれは、失敗ではなく経験から得ることができた大きな「成果」です。その「成果」を積み重ねていくことが「生きる力」となっていくと考えています。これからも多くの成果を得て、学校や地域での活躍を願っています。

南三陸町の中高生リーダーたちの活動は震災前と同じとはいかない状況が続いていますが、両町の中高生たちはこの交流会が「心の支え」になってそれぞれの地域でボランティア活動を続けています。長年、育んできた友情の灯が絶えぬよう中高生の皆さんに期待しています。

ご案内

中高生ボランティアリーダー募集

本別ボランティアクラブかめでは、ボランティア活動をやってみない中高生を募集しています。もちろん部活動や勉強などとの両立もできますので、気軽に活動に取り組んでみませんか？

問い合わせ

中央公民館内社会教育担当

☎ 22-5111

夏の「第33年次ふるさと交流」は夏休みに開催します！

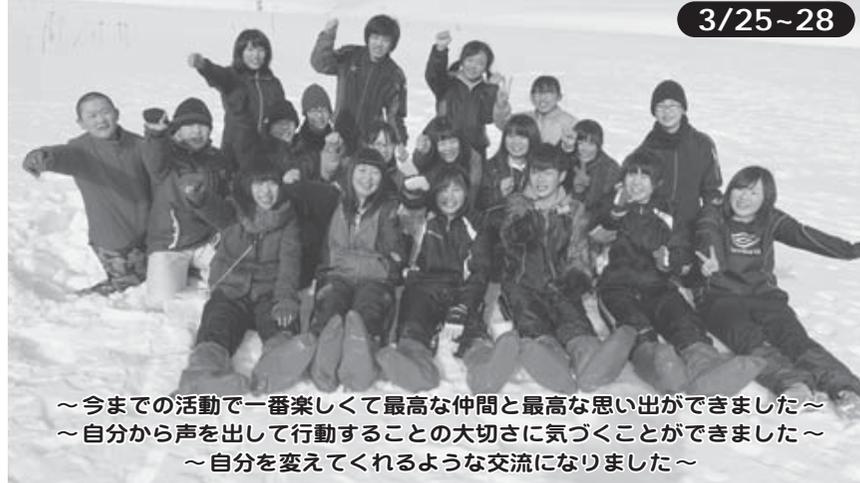
日程 7月31日(月)～8月5日(土)
5泊6日

行き先 宮城県本吉郡南三陸町
募集数 中学1・2年生 10人程度
諸費用 25,000円程度

*詳しくは5月下旬に学校を通じてご案内します。南三陸町での交流研修会に参加すると宮城県教育委員会より「ジュニアリーダー初級認定資格」が交付されます

第32年次 本別・南三陸ふるさと交流研修会

3/25～28



～今までの活動で一番楽しくて最高の仲間と最高の思い出ができました～
～自分から声を出して行動することの大切さに気づくことができました～
～自分を変えてくれるような交流になりました～

これらは参加者からの感想の一部です。
この交流研修会は、夏は宮城県南三陸町で、春は本別町で、ボランティア(=ジュニアリーダー)をしている中高生たちが、さまざまな活動を通じて自身の生きる力を高めていく活動プログラムです。今回は3月25日(土)から3泊4日で開催され、南三陸町から8人が来町し、本別町の中高生と充実した交流研修会ができました。



3/26

雪原でのレクリエーションゲームで楽しみました



3/25

南三陸町のみなさん、ようこそ本別町へ！



屋食に特製の豚汁をおいしくいただきました



初日は仲間作りのゲームなどをしました

百歳おめでとございます 町敬老祝い金の贈呈

3/17

戸みね子さん（北2丁目）が3月20日に100歳を迎えられるにあたり、同17日に自宅で高橋正夫町長から敬老祝い金が贈呈されました。

みねさんは大正6年3月20日に大樹町でお生まれになり、23歳で国鉄に勤める夫の故一夫さんと結婚。3男2女に恵まれ、子育てをしながら、町内で林業に従事しました。みねさんはこれまでに大きな病気はなく、平成2年に一夫さんを亡くしてから現在も一人で暮らし、炊事や洗濯、買い物もこなしています。みねさんは「100歳になった気がしない。毎日食べて寝て、心配がないことが、長生きの秘訣かも」としっかりとした口調で語りました。



地域の安全安心を 守りたい

3/14

森本永二さん（清流町）が全国防犯協会連合会の防犯栄誉銅賞を受賞し、3月14日、役場を訪れ高橋正夫町長に報告しました。森本さんは、平成7年から防犯活動に携わり、平成17年から町生活安全推進協議会の監事を務めています。また、青色回転灯防犯パトロール隊では子どもの見守り活動を積極的に行い、地域の安全安心に幅広く貢献され、表彰はこれらの活動に対する功績をたたえられたもの。森本さんは「これからも体力の続く限り、住みやすいまちづくりに貢献したい」と語りました。



馬と触れ合い、 畜産業を学ぶ

3/18

ほんべつ学冬のまなび「酪農と畜産」が3月18日、中央公民館と美里別東中のひまわり牧場（背戸田利光代表）で行われました。参加した小学生から中学生の8人は、初めて同牧場を訪れ、どんな動物が飼育されているか見学。大きな馬や牛、ニワトリなどたくさんの動物と触れ合ったあとは、同公民館に戻り、畜産業の種類などを学習しました。最後は学校給食共同調理場職員とともに豚丼を調理し、みんなでおいしくいただきました。



ウォーキングで メタボ撃退!!

3/16

健康運動講習会（町、町教育委員会主催）が3月16日、健康管理センターで開かれました。2月に続き、2回目となる今回は、「スッキリポディー・メタボリック改善運動と筋力トレーニング」をテーマに、町スポーツ推進委員の若林健一さんが、8人の参加者へ体脂肪を燃焼させるために効果的な有酸素運動を指導。参加者らは、準備体操で体を温めた後、腹筋を意識しながら室内をウォーキングし、メタボ予防のための運動意識を高めました。



特別企画

地域とともにある 学校づくり

コミュニティ・スクールは、CSやコミスクと呼ばれています

各学校の手作りページ

HELLO

コミュニティ・
スクール

本別町教育委員会では、平成28年度に「勇足地区コミュニティ・スクール（CS）推進委員会」を発足し、勇足小学校、勇足中学校を対象にした体制の整備に取り組んでいます。本別・仙美里地区は、本年度において推進委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクール導入に向けた調査・準備を進めます。

コミュニティ・スクール（CS）ってなあに？

地域住民が学校運営に参画し、学校を応援する仕組みです

- ① 参画：学校と地域住民・保護者とが子供たちの課題や目標などを共有し、協働で学校の教育活動を進めます
- ② 応援：学校と地域が一体となり、一緒になって子供たちを育てます
- ③ 仕組み：地域住民や教職員の代表などを委員とする「学校運営協議会」を設置します

勇足地区CS推進委員会、平成28年度の取り組み経過

先進地視察

- 7月19日 浦幌町（平成27年度スタート）
～教育委員会を訪問し説明を受けました～
- 9月26日 釧路市阿寒湖小学校（平成28年度スタート）
～地域の先生を招いた授業を参観しました～

研修会参加

- 8月24日 十勝管内CS研修会
- 10月21日 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム



阿寒湖小学校の地域の講師による授業



推進委員会での活発な「熟議」

研修会企画

- 11月17日 本別町PTA連合会研究大会
（町内PTA会員向け）
- 1月17日 勇足地区CS説明会（勇足小中教員向け）
- 2月21日 学校経営研修会
（町内校長・教頭、教育委員会職員向け）
- 2月22日 勇足の子どもをみんなで育む講演会・研修会
（勇足地区住民向け）

勇足地区は平成30年、本別・仙美里地区は平成31年に
コミュニティ・スクールのスタートを目指して取り組んでいきます。

問い合わせ 本別町教育委員会 ☎ 22-2331



シイタケ栽培を学ぶ 4 15

キノコ栽培研修会（本別町林業グループ主催、本別町営農指導対策協議会共催）が4月15日、役場前駐車場で行われました。研修会では、はじめに十勝総合振興局森林室足寄事務所の職員がシイタケを栽培するほど木の管理の仕方について講話。続いて、参加者19人は、同グループや同協議会会員らの協力のもと、用意されたミズナラの木100本に電動ドリルで穴を開け、木づちでシイタケの菌を植え付けました。完成したほど木は、参加者が持ち帰り、各家庭で栽培されます。



豊かな音色で楽しい時間 4 7

家庭教育支援事業「なかよし」親子のためのふれあい音楽会が4月7日、南3丁目の新子育て支援センターで開かれました。同センター機能が幼保連携型認定こども園ほんべつに移転してから初の事業で、同センターが併設されているこども園遊戯ホールに集まった25組51人の親子と同園の年長、年中の園児約70人は、本別高校吹奏楽部（篠田亜美部長）の16人や同校ボランティアクラブシリウス（中村亜依部長）の3人が披露する豊かな音色の演奏、手遊び、絵本の読み聞かせにくぎづけ。子供たちは、聞いたことのある童謡やアニメソングに合わせて手をたたいたり、元気いっぱい体を動かして楽しい時間を過ごしました。



「馬頭さん」に感謝を込めて 4 17

美里別東下一馬頭祭百年謝恩式（実行委員会主催）が4月17日、美里別東下一会館前で執り行われ、地域の関係者ら37人が参列しました。馬頭観世音菩薩を祭る碑や像は、本別町史によると町内に51基存在するとされています。開拓時代から農林業や交通等で重要な役割を果たし、家族同様に大切にされた馬の息災と供養のために建てられ、地域では「馬頭さん」の呼び名で親しまれています。同地区では大正7年に建立して以来、毎年馬頭祭を行ってききましたが、今年は100年目の記念として謝恩式を開催。参列者は読経に続き馬の好物を供え、碑の前で手を合わせ、地域の守り神でもある多くの馬たちへ改めて感謝の気持ちを捧げました。その後祝賀会が開かれ、地区で馬頭さんを守り続けてきた100年の節目を祝いました。



長年の活動に感謝 4 14

町行政相談委員の菊地利昭さん（南4丁目）が3月31日付けで退任し、これまでの活動に対して大弓俊樹釧路行政評価室長から総務大臣の感謝状が手渡されました。菊地さんは平成16年に総務大臣から委嘱されて以降、13年にわたり同委員として活躍。「13年間は長いようで、あっという間でした。今後も協力員として後任者のサポートに努めます」と語りました。後任には、松山守雄さん（新町）が4月1日付けで同委員に任命され、同日、大弓同室長から委嘱状が交付されました。



バスに乗って 映画館へ 3 27-29

ふるさと銀河線代替バス振興会議（北谷和雄会長）による、春休み映画観賞バスツアーが3月27日から29日の3日間、本別帯広間で行われました。このバスツアーは、同代替バスである十勝バスをもっと利用してもらおうと平成20年度から開催されており、今年で9回目。3日間で計81人の町内小学生が参加し、バスの車内では、引率のボランティアらからバスの乗り方や料金の見方、乗車マナーを学び、帯広市内の映画館で人気キャラクターの映画を鑑賞して楽しみました。



一流シェフから 海外の豆料理を学ぶ 3 20

料理の幅を広げるための豆料理講習会（町主催）が3月20日、ゲンキッチンで行われました。十勝ヒルズ「ファームレストランヴィーズ」のヘッドシェフであるモルドヴァン・ヴィクトル氏を講師に、町内外から22人が参加。参加者らは、管理栄養士の谷口まどかさんコーディネートののもと、シェフから「鍋をじっくり温めて調理しましょう」などとアドバイスを受け、うずら豆やキレイマメのほか、本別産の野菜や肉を使ったハンガリー料理のシチューとお団子など3品を完成させました。



生活に便利！ 家電のお得を紹介 3 27

家電アドバイザーの資格を持つ女優・タレントの奈津子氏を講師に迎え、消費生活講演会（町主催）が3月27日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。「見逃せない!! 聞いて、知って得する家電トーク」と題した講演に約60人が来場。就職や新入学時期を迎え家電の購入が増えるこの季節に、奈津子氏はインターネットでの家電購入や使用方法など、注意すべき事例を紹介しました。また、掃除機や洗濯機などのシロモノ家電を得意とする奈津子氏は、最新の便利な商品を紹介し、「時間や労力の削減など、家電は生活の向上に直結する。ぜひ試してみてください」と語りました。



前田農産食品のポップコーンが 北海道知事賞を受賞 3 22

前田農産食品合資会社（前田茂雄代表社員）の電子レンジ専用ポップコーン「十勝ポップコーン〜黄金のとうもろこし畑から〜」が第24回北海道加工食品コンクール（北海道食品産業協議会主催）で最高賞の北海道知事賞を受賞し、3月22日、前田社長と同社の松本龍二さんの2人が役場を訪れ高橋正夫町長に受賞を報告しました。同コンクールには、道内の28企業から55品の応募があり、パッケージや味、コンセプトなど10以上の審査項目の合計点で同商品が高得点を獲得。前田社長は受賞について、「大変うれしい。この商品の食べ方をもっと広く知ってもらい、今後は限定の味もつくっていきたい」と更なる飛躍への抱負を語りました。



みんなの健康

393

「高齢者虐待」という言葉を存じですか？高齢者虐待とは、高齢者の心身に傷を負わせる、人権を侵害している状況のことです。原因となるものを解消し、住み慣れた地域で安心して暮らせるように続ければ、本人や家族へのサポートを検討するのが高齢者虐待対応です。

高齢者虐待を未然に防ぎましょう



地域包括支援センター
介護支援専門員
佐々木 良祐

虐待の種類としては、①身体的虐待（暴力を振るうこと）、②心理的虐待（言葉などで心を傷つけること）、③性的虐待（わいせつな行為を強要すること）、④経済的虐待（合意なしに財産を不当に扱うこと）、⑤介護・世話の放棄・放任（適切な介護を行わないこと）の5つがあります。虐待が発生する原因はさまざまです。認知症状の悪化や介護負担の増加によるものであったり、経済的に不安

定な状況から生じるものであったりと、身近でも起こりうるものです。明らかでない虐待行為であってもそれを虐待と認識していい場合や、困っていても「助けて」と言えない場合もあり、地域の中に潜在している可能性があります。

虐待は早期発見・早期対応が大原則ですが、未然に防ぐことが何より重要です。介護に関する悩みや将来的な不安が少しでも解消し、ストレスが軽減されることで、深刻なものとならずに済むことがあります。普段から地域の中で声を掛け合うことで、身近で虐待が予防できるとも言われています。

付き合ひの中で、気になる高齢者や世帯がありましたら、お気軽に地域包括支援センター（☎2219222）にご相談、または情報提供をお願いします。連絡をくださった方の情報は守られますので、ご安心ください。

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つてね！



勇足元町
河野 柚夢
(麻田マコ)



北7丁目
久司 陸生
(紗田マコ)



山手町
和田 果歩
(曲紀奈マコ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

「チャリティープロレス in 本別」開催のお知らせ

北都プロレス（札幌市）によるチャリティープロレス（主催：本別町青年協議会・武川準司会長）が開催されます。プロレスの試合のほか、チビッコ対プロレスラーの対決などのプログラムもありますのでぜひお楽しみください。

- ◆日時 5月27日（土） 午後3時 開場
午後3時30分 チビッコ対プロレスラー対決
午後4時 プロレス試合
- ◆場所 本別町体育館（大競技室）
- ◆入場料 大人（高校生以上）前売券 2,000円、当日券 2,500円
中学生以下 無料（ただし、幼児・小学生は保護者同伴のこと）
- ◆入場券販売 本別町中央公民館
午前8時30分～午後10時（月曜日は午後5時15分まで）
- ◆問い合わせ 本別町青年協議会事務局 ☎22-5111（本別町中央公民館）



ご寄付ありがとうございます 平成29年3月16日から4月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。（敬称略）

- ★学校教育備品購入指定 金1,500,000円 …… 弥生町 前田晴美
- ★本別町特別養護老人ホーム物品等購入費指定 金100,000円 …… 新町 城市京子
- ★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金 金100,000円 …… 北7丁目 船渡 智名
金50,000円 …… 匿
- ★老人ホーム指定 長いも15kg …… 帯広市 足助博郁
- ★勇足・仙美里保育所指定 交通安全帽子5個 …… 本別ライオンズクラブ 会長 福家立雲

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計金2,600,000円 …… 222人

銀河ホップアップイン

足寄町

第36回

足寄ふるさと花まつり

春の訪れを感じながら、家族や友人と焼き肉を食べて楽しいひとときを過ごしましょう。
皆さんのお越しをお待ちしています。



口とき 5月28日（日）
午前9時45分

- 口内容 足寄町役場横駐車場
町民ステーション、丸太切り競争、カマス揚げ大会、あゆみちゃんフワフワドーム、抽選会、焼肉用七輪貸し出しなど
- 口お問い合わせ 足寄町役場経済課林業商工観光室
☎2512141 内線251

陸別町

オフロードバトル

今年のモータースポーツの幕開けとなる「オフロードバトル」が開催されます。
バギー車とATVによる白熱のレースをぜひご観戦ください。



口とき 5月21日（日）
午前9時スタート

- 口内容 陸別サーキット
(陸別町ウエーブ)
- 口入場料 大人 1200円
(高校生以下 無料)
- 口お問い合わせ 陸別町役場産業振興課商工業振興担当
☎2712141 内線135



本を持って出かけよう!

バードウォッチング

本のある暮らし 194

戸籍のまど

お誕生

3月後半から
4月前半の
届出分

加藤 陽向^{ひなた}くん 将人^{しょうじん}さん 3/15 共 栄
吉田 稜^{りょう}くん 豊^{とよ}さん 4/11 山手町

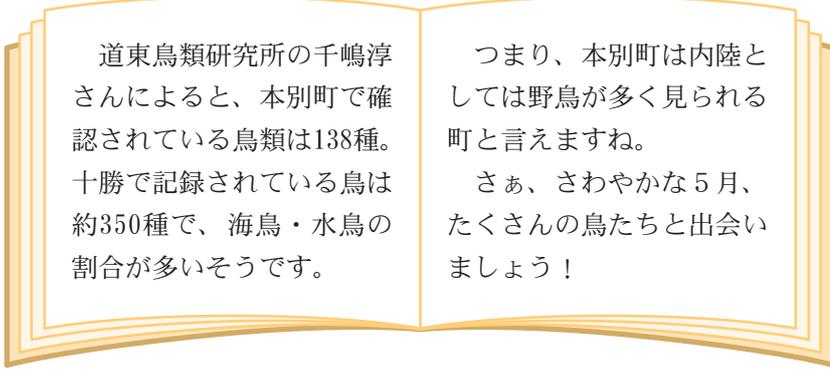
ご結婚

(朝日 悠^{ゆう}さん 柏木 町
阿部 真理恵^{まり恵}さん 登別 市)

おくやみ

日浦 恒子^{つねこ}さん 88歳 3/12 栄 町
澁谷 政雄^{まさお}さん 96歳 3/17 活 込
加藤 隆則^{たかね}さん 54歳 3/18 上押帯
稲守 信一^{のぶいち}さん 75歳 3/20 南2丁目
船渡 フミエ^{ふみえ}さん 89歳 4/1 北7丁目
小林 ハナヨ^{はなよ}さん 87歳 4/2 新 町
田西 昭^{あきら}さん 77歳 4/7 柏木町
横山 伴英^{ともえ}さん 77歳 4/7 美里別東上
高橋 さい子^{さいこ}さん 88歳 4/12 栄 町

5月10日から16日は「愛鳥週間」。野鳥が活発に動き出すこの季節に、野鳥とそれを取り巻く自然に親しみ、環境保護の大切さを考えてみませんか。



道東鳥類研究所の千嶋淳さんによると、本別町で確認されている鳥類は138種。十勝で記録されている鳥は約350種で、海鳥・水鳥の割合が多いそうです。

つまり、本別町は内陸としては野鳥が多く見られる町と言えますね。
さあ、さわやかな5月、たくさんの鳥たちと会いましょう!

図書館に、こんなおもしろい本が入りました



「声が聞こえるペン」を使って音声コードを読み取り、鳥の鳴き声をその場で再生できます。出会った鳥の声と姿をすぐに確認できて便利です。(図鑑とペンをセットで貸し出します。取り扱いはご配慮ください)



わたしたちのまち

前月比
人 口 7,247人(-14)
男 3,537人(-90)
女 3,710人(-51)
世帯数 3,642戸(-61)
〔3月末日住民基本台帳〕

※くらしの情報紙「かけはし」5月1日号で、第1回ほんべつ学「本別の野鳥を知ろう～春の巻～」をお知らせしています。ぜひ、あわせてご覧ください

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112